

基幹業務パッケージ EXPLANNER/Ai 導入事例

株式会社ミクシィ 様

拡大する事業に合わせ、全体最適を実現する基幹業務システムを構築。
経営基盤を確立し、更なる飛躍と成長を目指す。



株式会社ミクシィ
取締役
経営管理本部長
小泉 文明 氏



株式会社ミクシィ
経営管理本部
経理財務部
経理グループ マネージャー
原田 健 氏

概要

株式会社ミクシィ様は、ユーザー数1800万人を超える、国内最大規模のソーシャル・ネットワーキングサービス「mixi」を運営。「コミュニケーションを進化させて、世の中を豊かにすること」をビジョンに掲げ、常に新しいコミュニケーションサービスを提供し続けています。

このたび同社は、事業拡大にともない基幹業務システムを刷新。ERPソリューション「EXPLANNERシリーズ」を採用し、シームレスなシステム間連携により全体最適を実現しました。

「業務効率化」、「内部統制強化」、「管理会計強化」、「変化への柔軟な対応」という4つの課題を解決し、スピード感ある事業展開を見据えた経営基盤を確立。更なる飛躍と成長を目指しています。

POINT

導入背景・課題

- 各部門ごとに小規模パッケージを個別に運用しているため、重複作業が多く非効率的。
- 規模や業務に適さないパッケージを、運用でカバーしながら利用しているため、手作業が多く、処理が煩雑化。内部統制対応が脆弱。
- 管理会計帳票類は、Excelなどを用いて手作業で作成しているため、負荷が大きく、十分な分析が困難。
- 法改正対応や機能拡張に多大な負荷が発生。今後の事業拡大への対応に不安。

導入成果

- 各システムからの自動仕訳による二重入力の廃止と、マスタの一元管理を実現し、業務を効率化。
- 極力手作業を廃し、正確性を向上。さらに承認手続きのシステム化により内部統制対応を強化。
- 管理帳票は、自由なレイアウトで柔軟な作成が可能。また、明細ベースでの多角的な分析を実現し、管理会計を強化。
- 法改正には、標準サポートで迅速に対応。機能拡張にも、パッケージの柔軟性によりスムーズな対応が可能。

NECの提案

- 「EXPLANNER/Ai」(会計・人事・給与)と「インターネットサービス業向け販売管理テンプレート」の連携システムによる、全社業務の最適化をご提案。
- セグメント管理をはじめとする管理会計機能や、内部統制対応機能を網羅し、さらに柔軟性を備えたパッケージ「EXPLANNER/Ai」をご提案。
- BI(ビジネスインテリジェンス)ツール「InfoFrame Dr.Sum EA」(以下、Dr.Sum)の導入による経営の見える化をご提案。



社 名：株式会社ミクシィ
所 在 地：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前
2-34-17 住友不動産原宿ビル
資 本 金：37億4,067万円
(2009年12月31日現在)
従業員数：314名
(2009年12月31日現在、契約社員等含む)
事業内容：インターネットメディア事業 ソーシャル・ネットワーキング サービス「mixi」、
インターネット求人広告事業 Webな
人の転職サイト「Find Job !!」
U R L：http://mixi.co.jp/



導入の背景

4つの課題解決をねらい、
全体最適を実現するシステムへの刷新を検討

事業拡大にともない、新たに基幹業務システムを構築したミクシィ様。

経営管理本部 経理財務部 経理グループ マネージャーの原田健氏は、システム刷新の背景に、4つの課題があったと語ります。

「これまでは経理、人事などそれぞれの部門が適宜必要なパッケージを導入してきたため、業務の効率化を全社規模で進めることが困難でした。そこで、基幹業務システムを新たに構築することにより、業務の効率化、内部統制の強化、管理会計の強化、環境変化への柔軟な対応という、4つの課題を解決しようとしたのです。」

また、取締役 経営管理本部長の小泉文明氏は、導入のねらいを次のように語ります。
「全体最適の実現により無駄を削減し、クリエイティブな業務にリソースをシフトさせたい。これこそ、システム構築の真のねらいでした。」

導入の経緯

同一ベンダが提供するパッケージで
円滑なデータ連携のできるシステムを構築

パッケージ選定の条件のひとつは、同一ベンダからの導入であったと原田氏は語ります。

「7社のパッケージを比較検討し3社に絞りこみました。データのスムーズな連携やサポートを考慮し、同一ベンダから導入することを前提とし、実績、コストも勘案して決めることにしました。」

機能面で、原田氏が特に重視したのは、販売管理と会計でした。販売管理は、通常の物販とは事業の性質が異なるため、インターネットサービス業界の実情に合ったシステムであることが条件でした。また会計は、管理会計、内部統制対応がポイントでした。

ベンダとしてNECを選定した理由について、原田氏は次のように語ります。

「NECの提案は、インターネットサービス業に特化した『販売管理テンプレート』と、会計・人事・給与の基幹業務パッケージ『EXPLANNER/Ai』の連携によりシームレスなデータ連携を実現するものであり、当社の条件を満たすものでした。」

また「EXPLANNER/Ai」の会計機能は、セグメント管理をはじめとする管理会計機能や、権限設定・ログ管理などの内部統制への対応機能が充実している点が高い評価に繋がりました。

「提案の良さに加えて、営業や開発を担当するSEへの信頼感もあり、最終的に『EXPLANNERシリーズ』で、基幹業務システムを構築することを決定しました。」
(原田氏)

システム概要

ERPソリューション「EXPLANNERシリーズ」で
全体最適を実現

ミクシィ様は、まず手作業であった給与業務を含む、人事・給与・勤怠システムの再構築に着手。「EXPLANNER/Ai」人事・給与と、勤怠管理「TimePro-XG」を導入し、勤怠から人事・給与へのスムーズな連携による、業務の効率化、情報の一元管理を実現しました。

続いて「EXPLANNER/Ai」会計と「インターネットサービス業向け販売管理

テンプレート」を導入し、自社業務に適したシステムを構築。

これにより、各システムからの自動仕訳、共通するマスタの一元管理が可能になりました。さらに、膨大な販売・会計データを経営の意思決定に活用するため、BIツール「Dr.Sum」を導入。

こうして、2009年11月、全体最適を実現し、さらに柔軟で拡張性のある基幹業務システムが完成しました。

導入の成果と今後の展望

さらなる事業拡大に向け、
社員一人ひとりの創造性を活かせる環境が整う

原田氏は、導入効果を業務の視点から次のように語ります。

「二重入力がなくなり、決算をはじめとする業務の効率化が大幅に図れました。内部統制面では、ログ管理などのIT統制の強化はもちろん、承認手続きのシステム化により、処理の正確性が上がったことも大きな効果です。また管理会計面では、自由に管理帳票を作成でき、さらに仕訳明細ベースで多角的な分析ができるようになったので、管理精度が飛躍的に向上しました。」

また原田氏は、現場の意識の変化も生まれていると語ります。

「『Dr.Sum』との連携により、営業現場では、従来Excelで配布していた売上実績を、必要なときに参照できるようになったため、データ活用の意識も高まってきました。」

さらに、システム稼働後にスタートした、ミクシィ様の新サービス「mixiアプリ」への対応についても、システムをスムーズに機能拡張できたと、パッケージの柔軟性とNECの迅速な対応力を高く評価。

「将来は、経費申請などのワークフローとの連携や、データ分析の利用者を広げ、可視化を推進していきたい」と、今後の展望を描かれています。

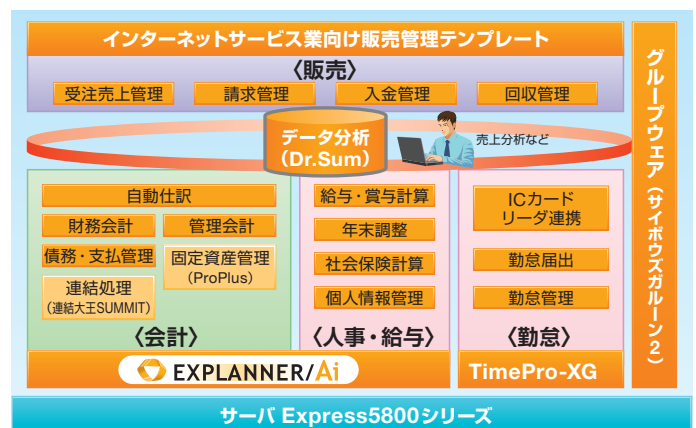
一方、小泉氏は、経営の視点から評価します。

「事業は“人ありき”です。今回のシステム刷新により生産性が上がり、社員一人ひとりの創造性を発揮する環境が整いました。さらなる事業拡大に向けた基盤が組織内に完成した意義は大きいと考えています。」

「ライフスタイルにおけるサービスを提供するミクシィと、ソフトとハードを提供するNEC。この両社は、今後協業できるのではないかと考えています。」と小泉氏は締めくくりました。

NECは、これからもミクシィ様のビジネスパートナーとして、新たなコミュニケーションサービス創出の基盤を支え続けていきます。

● ご導入システム全体図



お問い合わせは、下記へ

NEC EXPLANNER部

TEL: 03 (3798) 6844 FAX: 03 (3798) 7169

URL: <http://www.nec.co.jp/explanner/>

●本カタログに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
●このカタログの内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承下さい。
●本製品（ソフトウェアを含む）が、外国為替および外国貿易法の規定により、輸出規制品に該当する場合は、日本国外に持ち出す際に日本国政府の輸出許可申請等必要な手続きをお取り下さい。
詳しくは、マニュアルまたは各製品に添付しております注意書きをご参照下さい。

日本電気株式会社 〒108-8001 東京都港区芝五丁目7-1 (NEC本社ビル)

2010年4月現在

Cat.No. D07-10040103J



このカタログは環境にやさしい大豆油インキを使用しています。